

経営発達支援計画【令和6年度実績の概要】

■自己評価 A:大変効果があった（達成率 90%超） B:まあまあ効果があった（達成率 70%超）
C:あまり効果がなかった（達成率 50%超） D:まったく効果がなかった（達成率 50%以下）

経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査

総合評価：B

地域景気動向分析【中小企業景況調査:15社（目標15社）/出雲市中小企業景況調査:30社（目標30社）】

⇒市内商工団体等との連携により、管内事業者計45社に対して年4回（四半期毎）調査を実施し、地域の経済動向や業種ごとの景況等を把握。外部環境の変化を捉えるための情報収集や分析、経営支援における基礎資料として活用した。調査結果はHPで都度公開し、事業者向けに情報提供した。

2. 需要動向調査

総合評価：A

業界毎需要動向の把握と個社支援への活用【調査結果情報提供個社支援実施件数:16社（目標12社）】

⇒JRS-INDEXや業種別審査事典等を活用して業界別の需要動向の把握を行った。各種ツールやチャネルにより入手した需要動向等に関する情報は、ターゲットの絞り込みや事業計画の見直しのきっかけとするなど、事業計画の策定支援（16者）に活用した。支援内容は下記のとおり。

【経営計画2社・法認定計画2社・創業計画2社・事業承継計画4社・補助金に係る事業計画4社】

3. 経営状況の分析

総合評価：C

経営分析の実施【実績件数:16社（目標40社）】

⇒事業計画策定や補助金活用に意欲的な事業者に対し、財務・非財務による経営分析を実施。経営課題の明確化による現状認識の深化と経営の見える化等を図った。分析結果は事業計画策定の基礎資料として活用した。次年度は対象事業者のピックアップ方法を見直し、計画的かつ体系的な掘り起こしを目指す。

4. 事業計画策定支援

総合評価：B

事業計画の策定支援【実績件数:16社（目標40社）】

⇒経営分析実施事業者に対し、事業計画の策定を支援した。専門的分野については専門家派遣を活用し、具体的かつ実効性の高い事業計画の策定を支援した。策定した計画の内訳は下記のとおり。

【経営計画2社・法認定計画2社・創業計画2社・事業承継計画4社・補助金に係る事業計画4社】

DXセミナーの開催【実績:2回（目標1回）】

⇒小規模事業者向けにDX推進セミナーを開催した。セミナーを通じてDXの意義や必要性の認識向上やITリテラシーの向上等を図った。受講者数は26名。

5. 事業計画策定後の実施支援

総合評価：B

事業計画策定支援企業に対するフォローアップ【フォローアップ実績:47件（目標160件）】

⇒事業計画策定支援を行った16社の内15社に対して、平均3回のフォローアップを実施。事業者の取組を伴走支援するとともに、新たな経営課題への対応や取組の効果検証等を行った。

本年度は1社あたり4回の目標値を下回ったが、次年度は計画的なフォローアップによる目標達成を目指す。なお、前年度実施した「売上増加」、「1%以上の利益率改善」による効果検証は計画策定期間や取組内容により当期中の効果測定が困難であり、本年度は不実施。次期計画では測定方法を含めた見直しが必要。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

総合評価：C

「中海・宍道湖・大山圏域ビジネスマッチング事業」出展による販路開拓支援【出展実績:4社（目標10社）】

⇒安来市で開催された中海・宍道湖・大山圏域ビジネスマッチング商談会に4社がエントリー。成約には至らなかったが、次年度は地元開催のため一層強力に参加勧奨するとともに、更なる商談対策を実施するなどして販路開拓に繋げていく。

SNS等のDX活用の推進【実績:6社（目標:10社）】

⇒小売業やサービス業等6者に対して、専門家派遣等を通じてSNSやHPを活用した情報発信（集客強化）を支援し、内5社が新規顧客の獲得につながった。他方、新規顧客数の獲得有無は十分な効果検証が困難であるため、次期計画に向けて成果指標の見直しが必要。